

《無断転載を禁ずる》

2021年度 群馬県立女子大学文学部国文学科  
転入学及び編入学試験

・ 出題意図

「国語学・国文学及び漢文学」

問題一

問題一は、鎌倉時代初期の私家集、『建礼門院右京大夫集』から出題しました。古文の基礎的な文法や語彙の知識が身についているかどうか、また、そうした基礎的な知識を応用して文脈を読み解き、高倉天皇の笛に感動した筆者と高倉天皇のことばのやりとりの要点を理解することができたかどうかを問いました。

問題二

問題二は近現代の文学史についての問題で、「明治時代の観念小説、悲惨小説」「新心理主義文学」を問いました。それらについて十分な知識を持ち、明治、大正、昭和にかけての文学史の流れを踏まえた上で、適切に説明できる能力が試されます。

問題三

問題三は国語学についての問題です。国語学の基礎研究・応用研究に関わる基本的な事項を理解し、かつ、日本語の言語事象を具体的にとらえて、それらを的確に説明することができるかどうかを問いました。

問題四

問題四は漢字一字を正確に理解できる力、および連想する力を測りました。さらに、作詩の背景や文脈を踏まえて、作者の立場に身を置き、語り手の抱く感情を理解し、共感できる感性があるかどうかを問いました。